



週刊

新宿新聞

THE SHINJUKU SHINBUN

購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊63周年 電話3369-6195 FAX3369-0759 (昭和32年12月4日第3種郵便物認可)

主なニュース

- ②面 新宿駅乗降客数は1日365万人
- ③面 渋谷駅開発がスクランブルスクエアに
- ④⑤⑥面 新宿大通商店街が創立70周年
- ⑦⑧面 故・与謝野馨氏を偲ぶ声が続く
- ⑨面 新宿エイサーまつりで賑わう

新宿駅東口の目抜き通り・新宿大通りでは現在、3棟の建物が建て替え工事中だ。今年11月完成のTSUTAYA入居ビルを皮切りに、来年1月末に三井住友銀ビル建て替え、20年頃にはオリンピックビルの建て替えと、次々と建て替わる。新宿大通りでの建て替えは14年10月に完成した新宿中村屋ビル、新宿ヒュー

超一等地で3棟建て替え

リックビルの2棟以来。今後、建て替わる3棟のうちオリンピックビルは、有力店舗がひしめく新宿大通りの中で、約5年に渡りゴーストビルとしてなおざりにされていたビルだ。それが新宿は五輪に向け発展する銀座に並ぶ投資エリアとみて、この7月、ヒューリックが取得。商業施設へと開発する方針だ。



開発されることになったオリンピックビル(中央)

新宿大通り沿いの建物は11年の東日本大震災を契機に築40・50年以上経過した建物の建て替えが本格化。(新宿三丁目)だ。

完成後のビルは地上10階、地下2階建て。地下1階と地上4階、11階がテナントの行方注目。来年1月完成テナントの行方に注目

新宿大通り

次々と新ビル向け五輪



不動産会社のヒューリックは7月7日、新宿駅東口・新宿大通り沿いのオリンピックビル(新宿三丁目)の取得を完了している。このビルを解体し、商業施設ビルへと建て替える。竣工時期、開発ビルの概要はこれから詰めていくことになるが、東京五輪が開催される2020年頃には建て替えられそう。

新宿大通り

銀座に並ぶ「投資エリア」にヒューリック3棟も取得

銀座に並ぶ「投資エリア」にヒューリック3棟も取得。新宿大通り沿いのオリンピックビル(新宿三丁目)の取得を完了している。このビルを解体し、商業施設ビルへと建て替える。竣工時期、開発ビルの概要はこれから詰めていくことになるが、東京五輪が開催される2020年頃には建て替えられそう。

11月上旬に「再オープン」 TSUTAYA 9階建てビルに。新宿大通りでは、このTSUTAYA入居ビルの建て替え工事が実施中だ。来年1月竣工の三井住友銀ビル。このビルは、三井住友銀行が取得し、地下2階建てのTSUTAYAビルとして再オープンする。

来年1月竣工の三井住友銀ビル。このビルは、三井住友銀行が取得し、地下2階建てのTSUTAYAビルとして再オープンする。



来年1月竣工の三井住友銀ビル

来年1月竣工の三井住友銀ビル。このビルは、三井住友銀行が取得し、地下2階建てのTSUTAYAビルとして再オープンする。

秒読み

金融ハブをめざし「東京版金融ビッグバン」を実行する「アジアの金融都市」を創る。小池知事のこうした発言は、東京の発展を促すという。東京の発展を促すという。東京の発展を促すという。

金融ハブをめざし「東京版金融ビッグバン」を実行する「アジアの金融都市」を創る。小池知事のこうした発言は、東京の発展を促すという。東京の発展を促すという。東京の発展を促すという。